

Japan Academic Society of Hospitality Management

命輝く未来社会とホスピタリティ



日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第 33 回全国大会予稿集



開催期日：2025 年 9 月 20 日(土)

開催場所：大阪経済法科大学八尾キャンパス

第 33 回全国大会開催ご挨拶

実行委員会一同

謹啓 会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2025 年度の第 33 回全国大会を、9 月 20 日（土）に大阪経済法科大学（八尾駅前キャンパス）にて、対面形式で開催させていただくこととなりました。大阪関西万国博覧会開催期間中でもあり、統一論題は『いのち輝く未来社会とホスピタリティ』とさせていただき、広く産・官・学の皆様のご参加をお待ちしております。

会員の皆様方、次世代を担われる学生さんにも、積極的なご参加と、統一論題および自由論題における多数のご発表をお待ち申し上げます。

敬具

学会公式 HP ; <https://hm-ac.jp/2025/06/zenkoku33-01/>

■第 33 回 全国大会実行委員会組織

実行委員長 深瀬 澄（大阪経済法科大学）

副実行委員長 酒井 立夫（大阪経済法科大学）

実行委員（五十音順）

伊藤 敦（京都府立大学）

北村伊都子（梅花女子大学）

崎本 武志（江戸川大学）

木内 伸樹（明海大学）

藤井 享（豊橋技術科学大学）

学生スタッフ（五十音順）

呉 佳駿（大阪経済法科大学大学院経済学研究科修士課程 1 年）暫定

李 朝鵬（大阪経済法科大学大学院経済学研究科修士課程 1 年）確定

山本翔太郎（大阪経済法科大学経営学部 3 年）確定

開催校ボランティア

中村 和夫 研究科長（学生セッション座長）

城戸 亮 研究科教授（スケジュール管理、学生セッション座長）

五島 光 助教（準備作業協力、資料作成、受）付

第 33 回全国大会 プログラム

研究報告 1（午前の部）						
午前の部	701教室	703教室	705教室	706教室	707教室	702教室
09:30～09:55	第 1 報告	第 1 報告	第 1 報告	第 1 報告	理事会室	予備室
09:55～10:20	第 2 報告	第 2 報告	第 2 報告	第 2 報告		
10:20～10:45	第 3 報告	第 3 報告	第 3 報告	第 3 報告		
10:45～11:10	第 4 報告	第 4 報告	第 4 報告	第 4 報告		
年次総会・学会賞表彰式						
11:20～12:20	年次総会／学会賞授与式					
12:20～13:20	昼食 個別で（スーパー、コンビニ、ベーカリー、回転ずし、軽食あり）					
ホスピタリティ・コンベンション						
13:20～13:30	開催校挨拶					
13:30～14:00	基調講演 大阪経済法科大学経営学部 酒井立夫教授					
	「大阪・関西万博を歩く前に一見どころとホスピタリティの実像ー」					
14:00～14:30	基調講演 大阪・関西万博博覧会アテンダント研修担当 石井里奈氏					
	「『生命輝く未来社会とホスピタリティ』というテーマから考える					
	ホスピタリティの本質について」					
14:30～14:50	質疑応答（フリーディスカッション）					
研究報告 2（午後の部）						
午後の部	701教室	703教室	705教室	706教室	707教室	702教室
15:00～15:25	第 5 報告	第 5 報告	第 5 報告	第 5 報告	理事会室	予備室
15:25～15:50	第 6 報告	第 6 報告	第 6 報告	第 6 報告		
15:50～16:15	第 7 報告	第 7 報告	第 7 報告	第 7 報告		
16:15～16:40	第 8 報告	第 8 報告	第 8 報告	第 8 報告		

研究報告について

●発表時間は20分、質疑応答5分となっております。

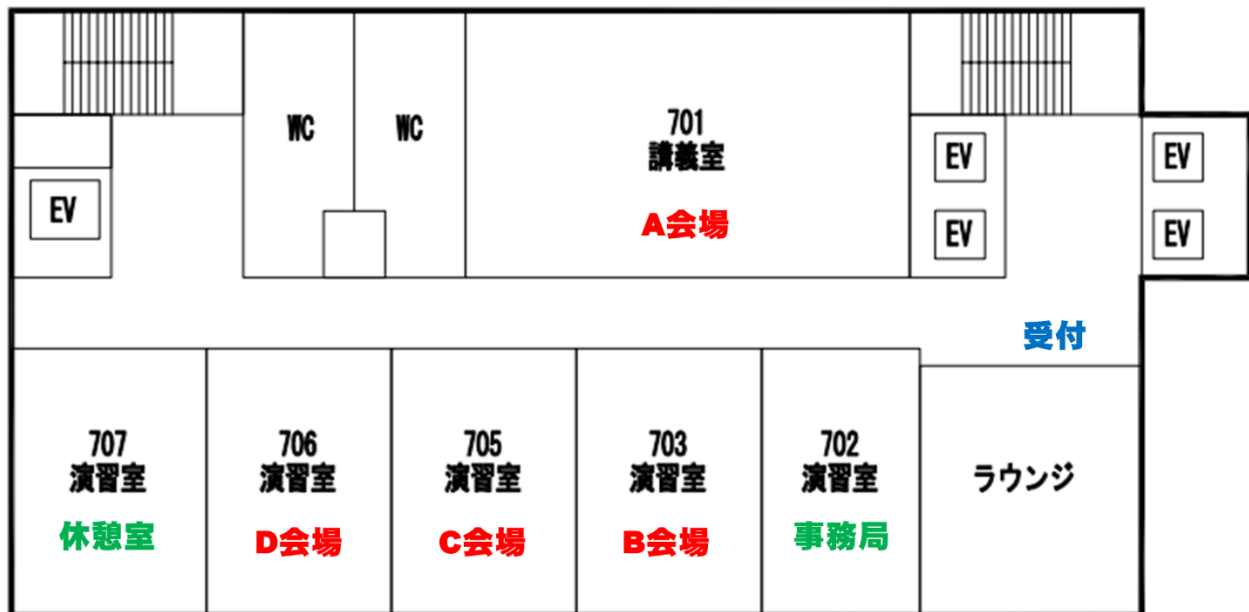
各セッションが始まる前に、各自必ず接続確認をお願い致します。

●当日発表予稿原稿は、学会ホームページにて掲載いたします（個人分、全体分それぞれ PDF で掲載）。紙面、冊子のご用意はありませんので、必要に応じて各自印刷の上ご持参ください。

●座長は、セッション毎に発表者の方を2名選定させて頂いております。恐れ入りますが、該当の先生は進行役をお願い致します。

●報告者に対する誹謗やアカハラ行為を禁止します。違反した場合は退場を求めます。

会場配置図 大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス 7F



■A会場(701 教室)

年次総会・学会賞表彰式

11:20-12:20	年次総会 学会賞授与式
-------------	----------------

12:20-13:20	ランチタイム
-------------	--------

ホスピタリティ・コンベンション

13:20-13:30	開催校挨拶 大阪経済法科大学 副学長 徳丸 義也
13:30-14:00	基調講演1 「大阪・関西万博を歩く前に一見どころとホスピタリティの実像」 大阪経済法科大学 経営学部教授 酒井立夫
14:00-14:30	基調講演2 「『生命輝く未来社会とホスピタリティ』というテーマから考えるホスピタリティの本質について」 大阪経済法科大学 国際学部「ホスピタリティ論」担当講師 石井里奈
14:30-14:50	質疑応答 翌日のエクスカーショについて 司会 学会長(江戸川大学) 崎本 武志

基調講演1

「大阪・関西万博を歩く前に ― 見どころ・注意点・ホスピタリティの実像 ―」

大阪経済法科大学 経営学部
教授 酒井立夫

本講演では、翌日の視察に先立ち、会場の特徴と課題をホスピタリティの観点から検証する。大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、未来社会の実験場として期待されている。しかし実際には、入場時の長蛇の列やパビリオン建設の遅れ、建設業者への未払い問題、さらには噴水等の水質汚染やメタンガスによるトイレ爆発など、多くの課題が表面化している。会場の夢洲は廃棄物処理場を埋め立てて造成された人工島であり、地盤やガスの安全性に不安が残されている。アクセス面でも、2024年8月に発生した地下鉄停電で帰宅困難者が出るなど、輸送インフラを含めたホスピタリティが問われている。一方で、日本国際博覧会協会は、給水所や冷却スペースの整備、デジタル予約システムの導入など、新しい取り組みを進めている。これにより、来場者体験の向上が期待されている。しかし、公式アプリの乱立や情報提供の不便さといった課題があり、十分に利用者に届いていないのが現状である。本講演では、会場を歩く動線の流れに沿って、「入口の混雑」「大屋根リングの安全性」「パビリオンの建設状況」「西ゲートの不便さ」などを具体的に上げ、来場者体験を形づくる要素として「待ち時間」「快適性」「安全性」「情報公開」を整理する。大阪・関西万博は未来を示す舞台であると同時に、ホスピタリティ課題の集積の場でもある。翌日の視察を通じて、光と影の両面を体感し、研究者の視点からホスピタリティの実像を捉える機会にしたい。

基調講演2

「生命輝く未来社会とホスピタリティ」というテーマから考えるホスピタリティの本質について

大阪経済法科大学
ホスピタリティ論 担当講師
石井 里奈

「いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)」というテーマは、人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を創造していくことを推し進めるものとされている。関西万博の会場では、日本が世界に誇る様々な技術が発表され、160を超える国や地域、国際機関が参加するなど国際交流や情報発信、未来を体感でできる様々なパビリオンやイベントに注目が集まっている。しかし、それら目に見えるものだけが今回の万博のレガシーとなる魅力だろうか。また、数字に表れている経済効果だけが成果なのだろうか。開幕前から様々な課題が指摘されてきた、関西万博がもたらしたものは何か、いのち輝く未来社会とはどのような社会なのか、ホスピタリティの本質という視点から考察する。

■A会場(701 教室)

【午前の部】 座長 高橋一夫(近畿大学)・滝聖子(香川大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
09:30～ 09:55	A1. サービス文脈における顧客経験の構造と行動的ロイヤルティへの影響 五島光・深瀬澄(大阪経済法科大学)
09:55～ 10:20	A2. 日本におけるインクルーシブ概念の定着に関するサーベイ 肖子睿・前田篤志(明海大学)
10:20～ 10:45	A3. DMO の組織マネジメントの課題(1)―官のジレンマ、民のジレンマ― 高橋一夫(近畿大学) 柏木千春(大正大学)
10:45～ 11:10	A4. 物流・倉庫部門における人手不足と職業性ストレスの考察 滝聖子(香川大学)・鈴木飛生(千葉工業大学)

【午後の部】 座長 五十嵐元一(桜美林大学)・崔載弦(東海大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
15:00～ 15:25	A5. ホスピタリティ産業における女性キャリアの内的構造の検討 ―航空機業界内定者・就業者におけるキャリアパースペクティブの質的分類― 岩田英以子(京都外国語大学)
15:25～ 15:50	A6. 他集団に属する主体への行動を促進させる要素に関する研究 牧 和生(京都橘大学)
15:50～ 16:15	A7. 仕事の生産性と持続可能性を高める企業行動モデルの構築 ―全国の宿泊・飲食業を調査対象に― 五十嵐元一(桜美林大学)
16:15～ 16:40	A8. 観光産業における外国人材のサービス提供と品質をめぐる課題の提起 ―日本型サービスに着目して― 崔載弦(東海大学)

■B 会場(703 教室)

【午前の部】 座長 中村和之(大阪経済法科大学)・木内伸樹(明海大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
09:30～ 09:55	B1. 関係人口の現状と移住促進の課題 ―愛媛県今治市大三島を事例に― 2 永塚 歩実(追手門学院大学大学院)
09:55～ 10:20	B2. ペットとの暮らしは高齢者の健康寿命を延ばすか——影響要因と調整効果のペット種別比較 ヒツ世慧(大阪経済法科大学大学院)・深瀬澄
10:20～ 10:45	B3. 感情型訴求の広告表現が及ぼす広告効果についての実証研究ーベーカーリーのInstagram 運用を通じてー 杉江遙大・松本奈々(大阪経済法科大学3年)・徳丸義也・深瀬澄
10:45～ 11:10	B4. 後発医薬品における不安定供給の原因分析 ー少量多品種生産体制に着目してー 乾悠登(京都府立大学4年)・伊藤敦(京都府立大学)

【午後の部】 座長 星野晴彦(文教大学)・大久保智生(香川大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
15:00～ 15:25	B5. 特別養護老人ホームにおけるコンプライアンスと生産性の関係に関する予備調査 高津洋貴(日本工業大学)
15:25～ 15:50	B6. 人流誘導と笑顔で万引きは減らせるか？(3)ー店舗責任者のインタビュー調査からー 大久保智生・岡田 徹太郎(香川大学)・太幡 直也(愛知学院大学) ・高橋陸斗(北海道大学大学院)
15:50～ 16:15	B7. 技能実習生の死体遺棄事件におけるソーシャルワークの必要性に関する検討 星野晴彦(文教大学)

■C 会場(705 教室)

【午前の部】 座長 崎本武志(江戸川大学)・城戸亮(大阪経済法科大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
09:30～ 09:55	C1. ウェルネスツーリズムによる持続可能な地域活性化と地球規模の幸福追求 付 娜(フ ナ)(大阪経済法科大学大学院)・桑井淳子・深瀬澄
09:55～ 10:20	C2. 観光資源としてみるスポーツスタジアムー花園ラグビー場、京都サンガスタジアムー 王 晨勳(オウ シンケン)(追手門学院大学大学院)
10:20～ 10:45	C3. 支払い方法が顧客満足度に与える影響ー知覚品質による支払いの痛みの調整効果ー 徐瑞(大阪経済法科大学大学院)・深瀬澄
10:45～ 11:10	C4. レジカート利用時の印象評価が店舗評価に及ぼす影響 高橋陸斗(北海道大学大学院)・大久保智生(香川大学)

【午後の部】 座長 山路顕(立命館大学)・石崎琢也(福井県立大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
15:00～ 15:25	C5. 民事訴訟における控訴提起の意思決定メカニズム :経済学的モデルと判例データに基づく分析 佐々木琉太郎(京都府教育庁)・伊藤敦(京都府立大学)
15:25～ 15:50	C6. アーキテクチャ論から考察するブライダル産業のダイナミズムー市場規模維持と単価上昇に対する考察ー 石崎琢也(福井県立大学)
15:50～ 16:15	C7. 観光・ホスピタリティ教育におけるインターンシップの効果分析ー高等教育機関のアンケートを通じてー 張景泰(駒沢女子大学)・木内伸樹(明海大学)
16:15～ 16:40	C8. 医療モールの最適規模の実証:2025 年全国悉皆調査を踏まえて 伊藤敦(京都府立大学)・渋谷悠希・荒川徹(マゼランメディカル)・中村文彦(北見工業大学)

■D 会場（706 教室）

【午前の部】 座長 藤井享(豊橋技術科学大学)・伊藤敦(京都府立大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
09:30～ 09:55	D1. 家庭向け感情支援型 AI ロボットの受容要因と購買行動の乖離問題 —近未来ホスピタリティマネジメント視座 宋 美怡(ソウミイ)(大阪経済法科大学大学院)・深瀬澄
09:55～ 10:20	D2. Enhancing Large Language Models with Retrieval —Augmented Generation: Improvements and Applications in the Tourism Industry 李峰(大阪経済法科大学経営学部4年)・岩田順敬・深瀬澄
10:20～ 10:45	D3. 生成 AI 時代の観光・ホスピタリティにおける AI 応用—2022–2025 年のシステムレビュー 倪映杰(ニ・テッケツ)(大阪公立大学大学院)

【午後の部】 座長 安本宗春(追手門学院大学)・北村伊都子(梅花女子大学)

時間	テーマ/ 名前(所属)
15:00～ 15:25	D5. QGIS を用いた小田川上流地域の空間データ分析 藤本宏美(岡山商科大学)
15:25～ 15:50	D6. 産学官協創による道の駅の資源ベース拡大に向けた検討と課題抽出に関する一考察 —高知県黒潮町「道の駅ビオスおおがた」の事例から 松田侑也(戦略的協創イノベーション研究所)
15:50～ 16:15	D7. 鉄道遺産の観光資源化—旧国鉄土幌線跡の活用— 安本宗春(追手門学院大学)